

[生涯学習]課 経営計画書（総括表）

■事務事業の総括

No.	事務事業名	様式 区分	H30 年度計画額（単位：千円）		H30 年度必要人工	
			計画額	内特定財源	職 員	臨時職員
1	家庭教育推進事業	B	971	290	0.4	0.2
2	生涯学習活動推進事業	B	19,649	308	0.4	0.1
3	生涯学習講座事業	B	1,331	200	0.7	0.2
4	中央公民館管理事業	B	48,612	3,718	0.7	0.1
5	町民会館管理事業	B	315,569	214,581	0.7	0.1
6	社会体育振興事業	B	10,528	424	0.7	0.1
7	温水プール管理事業	B	51,472	140	0.4	0.1
8	グラウンド等管理事業	B	74,067	20,650	0.7	0.1
9	野外活動施設管理事業	B	4,769	15	0.3	0
10	文化財保護事業	B	2,641	30	0.5	0.5
11	歴史民俗資料館運営事業	B	11,481	40	0.5	1
12	歴史文化教育事業	B	0	0	1	0.5
合 計			541,090	240,396	7.0	3.0

■特記事項

--

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	1
事業名	家庭教育推進事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本施策	1	生涯学習の推進
目的	将来を担う子どもたちの健全育成は、学校・家庭・地域及び子どもに関する関係機関が連携し、すべての教育の基である家庭教育の充実を図り発展させること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講座 ※小学生以上を対象にした講座や親子を対象にした自然体験教室等を開催する。 ・親子ふれあいファミリーフェスタ ※ふれあいまつりで小、中学校PTAと協働契約により開催する。 		
現在における経過又は課題	<p>社会構造の変化に伴い、子育て家庭の孤立や地域の子育て力が低下している。その為、学校、家庭、地域が連携して、自然体験や親子ふれあいの場づくりに務め、家庭や地域が共に子育てに参加し、その教育力を高めることが必要である。</p> <p>町の他部局やNPO登録団体等が行う同様の事業も多く、講座や体験教室に同じ受講者が参加するなど、新たな参加者が増加していかない。</p> <p>青少年問題協議会の会議を年1回開催し、江南警察署管内の青少年の犯罪状況や、愛知県青少年保護条例による様々な取り組みやイベントなどの啓発をしている。</p>		
平成30年度の目標又は改善策	<p>親子講座や親子（父子）がふれあい、ともに学習できる機会の提供など、より一層の充実を図る。</p> <p>新たな参加者の獲得のためアンケート調査等を実施しながら更なるニーズの発掘に努力する。</p> <p>事業や開催時期などが重複しないよう、他の部局と情報を共有しながら連携を密にするようにする。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	前期家庭教育講座の受付及び事業展開、アンケート調査（5月～8月）
7	日間賀島親子自然体験教室開催及びアンケート調査 青少年問題協議会の開催
10	後期家庭教育講座の受付及び事業展開、アンケート調査（10月～2月）

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H28 計画	H28 実績	H29 計画	H30 目標	H31 目標	H32 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H31 年度	・ ・
H32 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H28 年度決算額	H29 年度当初予算額	H30 年度計画額
事業費		千円	857	971	971
(内特定財源)		千円	243	290	290
人工	職員	人工	0.3	0.4	0.4
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0.2
	計	人工	0.5	0.6	0.6

■平成 30 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
19-3-4-9-2-2 家庭教育講座受講料	20	10-5-1 3 家庭教育推進事業
19-3-4-9-4-1 家庭教育活動参加者負担金	270	10-5-1 3 家庭教育推進事業
合計	290	

■平成 30 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

なし

■目標又は改善策に対する取組内容

●前期家庭教育講座の受付及び事業展開

・親子自然教室

竹で、たけのこご飯！（1回、28人、8組参加）

親子で竹パン教室（1回、21人、8組参加）

・理科おもしろ実験講座

高～く、長～く飛ぶ飛行機を作ろう（1回、12人、6組参加）

光の性質を学んでカメラを作ろう（1回、12人、6組参加）

作用と反作用 ペットボトルロケットを作ろう（1回、13人、7組参加）

・夏休み親子料理教室（3回、延68人29組参加）

・日間賀島親子自然体験教室（天候不良により中止）

●後期家庭教育講座の受付及び事業展開

・理科おもしろ実験講座

「消えるマジック」を作ろう（1回、4人、2組参加）

「超絶バランス作品」を作ろう（参加者欠席のため中止）

・原始人クラブ大口出張所（1回、12人、6組参加）

・初めての将棋教室（3回、延25人13組参加）

●ふれあいまつり2018

・大口中学校PTA 千本引き（500人参加）

・大口南小学校PTA 魚釣りゲーム（369人参加）

・大口北小学校PTA 親子いすづくり（100組参加）

・大口西小学校PTA たのしくつくろうおえかきせんべい（364人参加）

●父子料理教室（おやじの会協働事業）（1回、29人、14組参加）

●青少年問題協議会で巡回パトロール実施（ヨシヅヤ、アピタ、バロー）

中学校・保護司と連携して、校外巡視時に啓発チラシ・グッズを配布

■評価

家族で学べる各種講座・教室を開催することにより、家族のふれあいの場を設けることができた。参加者からも概ね好評価をいただいている。おやじの会との協働事業である父子料理教室では、父親の積極的参加がみられ、家庭教育の場としてよりよい環境を提供できている。

今後も町NPO登録団体や小中学校PTAとの連携を図りながら、住民の多様なニーズを掌握し、事業の展開を図っていく。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	2
事業名	生涯学習活動推進事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本施策	1	生涯学習の推進
目的	人々が自らの意思で、生涯学習活動を進めることにより、大口町生涯学習基本構想に基づく「生涯学習のまちづくり」を目指すこと。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興（芸能文化事業） ・学校支援地域本部事業 ・文化協会支援 ・成人の集い実行委員会支援 ・リフレッシュリゾート施設利用助成 ・生涯学習のまちづくり事業委託 ・少年少女発明クラブ 		
現在における経過又は課題	<p>学校、家庭、地域がそれぞれの役割を持ちながら互いの教育力を補完し合い、学習活動を推進する必要がある。</p> <p>大口町文化協会は、会員の高齢化が進んでいるが、協会の自立が期待されているとともに会員をどのように増やしていくかが大きな課題である。</p> <p>学校支援地域本部事業のより一層の拡大と継続性の確保。</p>		
平成30年度の目標又は改善策	<p>開かれた学校づくりの一環で地域住民が学校における行事や事業への参加・協力ができるよう学校地域支援本部の継続と拡充のため情報発信やボランティアの確保などを図っていく。</p> <p>昨年度同様、文化協会の事務運営全般をまちネットへ委託するとともに、今後文化協会の自主運営を支援していく。</p> <p>また、少年少女発明クラブの体制強化を図っていく。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	大口町文化協会補助金交付決定 事業の展開支援（4月～3月） 生涯学習のまちづくり事業委託契約
6	町NPO団体と協働委託契約を締結 芸能文化事業の展開（6月～2月） ・ほほえみコンサート、なんでもマラソンコンサート、おおぐち合唱祭、ダンス&ミュージック
7	大人の集い実行委員会立ち上げ 事業の展開（8月～1月）
1	大人の集い開催 リフレッシュリゾート施設利用申請受付、利用券交付（4月～3月）

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H28 計画	H28 実績	H29 計画	H30 目標	H31 目標	H32 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	・ ・
H31 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H28 年度決算額	H29 年度当初予算額	H30 年度計画額
事業費		千円	16,942	18,376	19,649
(内特定財源)		千円	324	873	308
人工	職員	人工	0.6	0.3	0.3
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0.1
	計	人工	0.8	0.5	0.4

■平成 30 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-4-4-1 特別教室開放施設使用料	108	10-5-1 4 生涯学習活動推進事業
17-1-2-1-1-1 ふるさとづくり基金繰入金	200	10-5-1 4 生涯学習活動推進事業
合計	308	

■平成 30 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-5-1 4 13-14-1 芸能文化事業開催委託料	1,050	20	おおぐちおやじの会主催「ダンス&ミュージックフェスティバル」にて商工会施設使用料が含まれたため(H28 まで免除だった)
10-5-1 4 13-4-2 文化協会事務委託料	669	104	29 年度から事務全般をまちなっと大口に委託しているが、当初に想定した事務量より多かったため増額。

■特記事項

なし

■目標又は改善策に対する取組内容

中央公民館廊下やロビーなどを有効活用し、文化協会や学校支援地域本部事業、地域自治組織などのPRができるようパネルの展示や事業報告などを掲載し、各種団体へ加入へのアピールを行った。

●芸能文化事業

ほほえみコンサート（3回）

大口なんでもマラソンコンサート（1回）

●成人の集い実行委員会支援

成人の集い参加者 227人参加

●文化協会支援

文化部、芸能部合わせて23団体、480人

事業実績（作品展・教室・発表会・慰問） 170事業

●リフレッシュリゾート施設利用助成

●学校支援地域本部事業

ボランティア登録人数 75人

活動日数・活動人数

・大口中学校 延274日 770人

・大口南小学校 延77日 532人

・大口北小学校 延82日 160人

・大口西小学校 延66日 248人

■評価

平成30年度は、町民会館改修工事のため、例年町民会館で行っていた一部の芸能文化事業が実施できなかった。実施できなかった一部の事業については、来年度以降に再度町内の団体と協働委託を行い、実施していく予定である。今後も外部団体の招へいによらず、町内団体を事業の軸として、文化活動の掘り起こしを図っていく。

文化協会においては、事務全般について平成29年度からまちネットへ協働委託をしており、平成30年度においても業務すり合わせを行ってきた。来年度も引き続き協働委託を行い、事務の安定化を図っていく。また、一部新たなクラブ設立も予定されており、引き続き協会活動の活性化を進めていく。

リフレッシュリゾート事業においては、転入時にチラシを配布するなど、制度の周知を図った。今後もより多くの方に利用してもらえるようPRの方法を検討していく。

学校支援地域本部事業については、生涯学習実現の場として定着してきており、参加されたボランティアの方からも、地域貢献に対するやりがいを感じられているとの意見を寄せていただいている。今後も学校支援活動が地域における役割を担っていけるよう支援を継続していく。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課	No.	3
事業名	生涯学習講座事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本施策	1	生涯学習の推進
目的	町民一人ひとりが、変化の多い社会の中で「明るく、楽しく、豊かに」生きることを願い、様々な分野の各種講座を開設し、個々の教養や技術を習得すること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・定期講座 ※前期、後期に分け、主に教養を深めることや趣味の拡大を目的に1講座6回程度開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・旬の講座 ※その季節にあわせて1講座1回から3回程度開催する。	
現在における経過又は課題	<p>住民が求める講座や教室は、多種多様であり、講座や教室の内容の企画や選定に苦慮している。多くの参加を見込める講座等を企画する必要があるが、他の部局と同様の事業や時期が重複している傾向がみられる。</p> <p>おおぐち歴史ガイドについては会員自ら講師となり生涯学習講座を開催。自らの歴史知識を活かしつつ、新たな会員も加入する等、着々と組織化に向け進展している。</p>		
平成30年度の目標又は改善策	<p>講座の開催場所を学校や学供、町外施設など幅広く活動の場を展開する。</p> <p>アンケート調査で得た情報を基に住民ニーズを吟味し、新たな講座等を企画していくとともに、既存の文化協会活動にも力を入れ、一過性のものにしないよう積極的に支援していく。</p> <p>また、歴史民俗資料館と協力し、町の歴史文化活動の一翼として、今後もおおぐち歴史ガイドの自主独立に向け支援していく。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	前期生涯学習講座の受付及び事業展開（5月～8月）
10	後期生涯学習講座の受付及び事業展開（11月～2月）
	* 事業の展開と共に、新たな講座等を企画していく。

□3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	.
	.
H31 年度	.
	.

■事業コスト

		単位	H28 年度決算額	H29 年度当初予算額	H30 年度計画額
事業費		千円	1,663	1,369	1,331
(内特定財源)		千円	534	200	200
人工	職員	人工	0.6	0.6	0.7
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0.2
	計	人工	0.8	0.8	0.9

■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
19-3-4-9-2-1 社会教育講座受講料	200	10-5-1 5 生涯学習講座事業
合 計	200	

■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-5-1 5 12-4-1 行事保険	0	▲36	平成 30 年度より、行政課にて予算を計上

■特記事項

なし

■目標又は改善策に対する取組内容

●前期講座

- 「ヤマザキマザック美術館～尾州徳川の花相撲 帝もサムライも熱中！いとしの植物たち～」
(1回、16人参加)
- 「ハワイアンフラダンス教室」(6回、延79人参加)
- 「美しいおもてなし 茶道教室」(6回、延64人参加)
- 「作って楽しいクラフトバンド教室」(6回、延54人参加)
- 「アトリュミエールで行灯づくり」(参加者少数のため中止)
- 「かんたん絞り染め教室」(6回、延35人参加)
- 「これぞ日本！ 和食教室」(2回、延17人参加)
- 「えっ、こんなところに！？大口町ゆかりの地ツアー」(4回、延28人参加)
- 「祭囃子講座」(6回、延9人)

●後期講座

- 「ヤマザキマザック美術館～アールヌーヴォーの伝道師 浅井忠と近代デザイン～」
(1回、28人参加)
- 「光燈路を絞り染めで作ろう」(6回、延24人参加)
- 「自分で行う自己治療 自力整体」(5回、延107人参加)
- 「みんなでコーラス教室」(9回、延246人参加)
- 「アーティフィシャルフラワーでアレンジメント」(2回、延6人参加)
- 「歴史よもやま話」(5回、延36人参加)
- 「世界を食べる！ワールド・クッキング」(3回、延46人参加)

●高齢者教室～さくら大学～(12回、延541人参加)

■評価

生涯学習基本構想のキーワード「学びを創る」「学びにつどう」「学びをつなぐ」という考え方のもと、「誰でも、いつでも、気軽に学べる」をモットーに、一般成人から高齢者まで幅広い年齢層の方を対象に様々な学習機会の提供を行った。また、受講者へのアンケートや、民間事業者により各所で実施されている講座などの情報収集などにより、新たな講座を企画し、実施した。参加者からは概ね好評価をいただいている。講座によって参加者のばらつきは出ているが、生涯学習のきっかけづくりとして、今後も色々な講座を企画していきたい。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課		No.	4
事業名	中央公民館管理事業			
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する	
	基本施策	1	生涯学習の推進	
目的	町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、町民が気楽に集まり教養や技術を習得することができると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。			
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用者対応 ・設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認		<ul style="list-style-type: none"> ・支払処理 ・消耗品等の補充 ・除草等清掃作業 	
現在における経過又は課題	平成 26 年度に耐震工事と改修を行い整備されたが、施設内の備品に老朽化や破損しているものが目立つ状況なので、平成 27 年度から順次備品購入対応をしている。			
平成 30 年度の目標又は改善策	平成 27 年度から 3～5 年ほどの計画で会議室の机や調理室の調理器具などを更新しており、引き続き対応していく。 また、修繕で対応可能な部分については、積極的に修繕し、改修が必要な場合にもできる限り対応していく。			

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	<p>年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。</p> <p>* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。</p>

□3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 					
項目（単位）	H28 計画	H28 実績	H29 計画	H30 目標	H31 目標	H32 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H31 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
H32 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H28 年度決算額	H29 年度当初予算額	H30 年度計画額
事業費		千円	50,755	61,917	48,612
(内特定財源)		千円	3,757	3,618	3,718
人工	職員	人工	0.3	0.3	0.7
	臨時職員	人工	0.1	0.1	0.1
	計	人工	0.4	0.4	0.5

■平成 30 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-4-1-1 行政財産目的外使用料	98	10-5-2 3 中央公民館管理事業
12-1-9-4-2-1 中央公民館使用料	3,200	10-5-2 3 中央公民館管理事業
19-3-4-9-6-1 施設利用負担金	420	10-5-2 3 中央公民館管理事業
合計	3,718	

■平成 30 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-5-2 03 11-5 光熱水費	38,500	△2,000	使用実績に伴う減額 (電気 △2,000 水道 +1,000 ガス△1,000)
10-5-2 03 15-10-1 工事請負費	0	△8,576	H29 集会室排煙設備更新工事完了に伴う減
10-5-2 03 15-11-1 工事請負費	0	△1,653	H29 集会室吊り物修繕工事完了に伴う減
10-5-2 03 18-1-1 備品購入費	0	△1,469	視聴覚室用会議机購入完了に伴う減

■特記事項

中央公民館会議室の机について、H27～29の3年間で更新を完了した。引き続き、備品等の状況を随時確認し、修繕などの対応をしていく。集会室の排煙設備工事と舞台吊り物改修工事についてはH29年度に完了し、集会室の安全面に支障のないよう万全を期した。

■目標又は改善策に対する取組内容

修繕（主たるもの）

- 12月 太陽光発電システム修繕 99,900円
- 2月 排水管関連修繕（3件） 213,840円
- 3月 空調設備排煙濃度計指示変換器取替修繕 135,000円
- 3月 南側階段床張替修繕 440,000円

工事

- 12月 留守番電話機器設置工事 95,040円
- 3月 無線LAN増設工事 75,600円

■評価

施設及び設備の老朽化に伴う故障、不具合等について、その都度修繕にて対応を行った。中央公民館南側階段においては、利用者から床シートのめくれによる転倒の危険性が指摘されており、シートの張り替えによって安全性が確保できた。排水管関連については、排水管の内部の詰まりによる不具合が頻発し、その都度業者による修繕を速やかに実施した。今後も管周辺の老朽化に対しては、注視していく必要がある。

留守番電話機器の設置工事については、教育委員会では従来生涯学習課のみ導入していたが、平成30年度から全庁的に導入するという方針に基づき、学校教育課及び図書館の代表電話番号に対応する機器を導入した。留守番電話機器の導入により、全庁的に業務時間外の電話対応の統一が図れた。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課		No.	5
事業名	町民会館管理事業			
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する	
	基本施策	1	生涯学習の推進	
目的	町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、町民が学習成果の発表を行う場や講習等の教養を習得すると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。			
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の利用者対応 ・ 設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認		<ul style="list-style-type: none"> ・ 支払処理 ・ 消耗品等の補充 ・ 除草等清掃作業 	
現在における経過又は課題	開館からすでに 20 年以上経過しており、施設の老朽化や非構造物の耐震診断の結果、屋根の雨漏り箇所や天井材に不具合が確認されていることから、大規模な改修が必要である。			
平成 30 年度の目標又は改善策	平成 30 年度に屋根等改修工事（屋根改修、空調工事、LED 照明工事、音響工事等）を実施していく。			

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。
6	屋根等改修工事入札（カーボンマネジメント補助金内示後）
9	屋根等改修工事議決・発注
* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。	

□3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	.
H31 年度	.

■事業コスト

		単位	H28 年度決算額	H29 年度当初予算額	H30 年度計画額
事業費		千円	22,157	21,419	315,569
(内特定財源)		千円	3,030	2,881	214,581
人工	職員	人工	0.3	0.3	0.4
	臨時職員	人工	0.1	0.1	0.1
	計	人工	0.4	0.4	0.5

■平成 30 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-4-1-2 行政財産目的外使用料	1	10-5-2 4 町民会館管理事業
12-1-9-4-3-1 町民会館使用料	1,100	10-5-2 4 町民会館管理事業
17-1-3-1-1-1 明日のまちづくり基金繰入金	122,000	10-5-2 4 町民会館管理事業
19-3-4-1-59-1 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金	91,444	10-5-2 4 町民会館管理事業
19-3-4-9-6-2 施設利用負担金	780	10-5-2 4 町民会館管理事業
19-3-4-9-35-1 町民会館屋根等改修工事費負担金	5,000	10-5-2 4 町民会館管理事業
合計	220,325	

■平成 30 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-5-2 04 11-6-1 町民会館修繕料	1,000	△1,521	観覧席の制御機器修繕完了による減
10-5-2 04 13-5-9 屋根等改修工事監理	4,072	皆増	屋根等改修工事の監理
10-5-2 04 15-7-1 屋根等改修工事費	293,000	皆増	屋根等改修工事費

■特記事項

平成30年度は、屋根等改修工事(屋根改修、空調工事、LED照明工事、音響工事等)を実施していく。工事期間中(9月～3月予定)は閉館対応予定。工事終了後は、施設の利用促進に努める。

■目標又は改善策に対する取組内容

修繕（主たるもの）

- 7月 ホール空調設備機器修繕 97,200円
- 12月 防火設備関連修繕（2件） 100,400円
- 3月 移動椅子通路灯バッテリー取替修繕 17,280円

工事監理

- 8～2月 屋根等改修工事監理業務 3,888,000円

工事

- 8～2月 屋根等改修工事 290,594,520円
- 3月 駐車場区画線工事 324,000円

■評価

平成29年度に実施設計を行った町民会館屋根等改修工事について、8月から平成31年2月までの約半年間に渡る工期で施工した。施工にあたっては工事請負業者、工事監理業者、商工会事務局を交え、定期的に週1回の工程管理会議を行い、工期内の工事進行及び安全管理に万全を期した。工期内において突発的な案件、仕様変更などが生じた場合には、その都度速やかに指示を行い、施工に支障のないよう配慮した。その結果、工期内に大きな事故・トラブル等もなく、工事を完了できた。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	6
事業名	社会体育振興事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本施策	1	生涯学習の推進
目的	町民が暮らしの中に「体育」を取り入れ「健康」と「元気」になれるよう、「町民と結びついた社会体育」をスローガンに各種講習会や大会などを開催し、町民にスポーツ参加の機会と普及に努めること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室開催 ・スポーツ大会開催 ・体育協会支援 ・スポーツ少年団支援 		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員事務
現在における経過又は課題	<p>若い世代から高齢者まで、生涯にわたって健康・体力づくりに取り組めるよう、多様なスポーツに親しむ機会の充実に努めていく。</p> <p>また、子供向けの事業については、総合型地域スポーツクラブであるNPO法人ウィル大ロススポーツクラブが実施しており、引き続き事業を継続していく。</p> <p>団体支援では、団体のみが参加する活動だけでなく、多くの人を巻き込める地域貢献の場を増やす必要がある。</p>		
平成30年度の目標又は改善策	<p>子供向けの事業については、現状どおりウィル大ロススポーツクラブと協働で事業を進めていく。成人向けの事業についても、同様の取り組みを推進していく。</p> <p>スポーツ教室については、スポーツ推進委員を中心にプロジェクトを組織し、ターゲットを絞った教室を計画していく。</p> <p>団体支援では、自分たちの視点で団体を見直し、自らが中心となる団体だけでなく地域貢献にも積極的に取り組めるよう支援する。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	各団体補助金交付決定 事業の展開支援（4月～3月）
5	登山教室
9	地区別ソフトボール大会開催
10	町民体育祭開催 登山教室
12	愛知駅伝参加
3	桜並木健康ジョギング開催
	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員会議は毎月1回開催 ・スポーツ教室は年度当初に企画し、夏以降に開催

□3年間の目標

項目（単位）	H28 計画	H28 実績	H29 計画	H30 目標	H31 目標	H32 目標
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 					

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H31 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
H32 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H28 年度決算額	H29 年度当初予算額	H30 年度計画額
事業費		千円	9,512	10,535	10,528
(内特定財源)		千円	444	499	424
人工	職員	人工	0.5	0.5	0.6
	臨時職員	人工	0.1	0.1	0.1
	計	人工	0.6	0.6	0.7

■平成 30 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-5-4-1 学校開放施設使用料	410	10-6-1 3 社会体育振興事業
19-3-4-9-5-1 スポーツ教室受講料	14	10-6-1 3 社会体育振興事業
合 計	424	

■平成 30 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

なし

■目標又は改善策に対する取組内容

●講座・教室

登山教室 5月（参加者16人）10月に企画した登山教室は雨天により中止
ラグビー教室（3回、延94人参加）

●スポーツ推進委員活動

委員会（委員会10回開催、スポーツ教室、町民体育祭、桜並木健康ジョギングなどを運営）

●スポーツ大会開催

地区別ソフトボール大会（男子14チーム、女子2チーム参加）

町民体育祭（約延2,800人参加）

愛知県市町村対抗駅伝競走大会（19人参加）

桜並木健康ジョギング（682人参加）

●体育協会・スポーツ少年団事業

体育協会（11団体）

春季町民総合体育大会

大口町・扶桑町親善体育大会

秋季町民総合体育大会

グラウンドゴルフ大会などを実施

スポーツ少年団（5団体）

全国スポーツ少年団軟式野球交流大会地区大会

体カテスト

愛知県スポーツ少年大会西尾張支部大会などを実施

■評価

平成29年度から引き続き、スポーツ推進委員が主体となってラグビー教室を開催した。ラグビーワールドカップの日本開催も予定されていることもあり、参加者の関心の高まりを感じられた。鬼ごっこの要素も含まれているため、子どもにも大変好評であった。

講座・教室について、子ども対象の事業については、ウィル大口スポーツクラブにより積極的に進められており、参加者にも好評である。成人向けには登山教室を例年開催しており、参加者からも好評価をいただいているが、参加者の体調管理のリスクもあり、今後登山ルートの変更等を検討する必要がある。

スポーツ大会については、体育協会やスポーツ推進委員の協力を得ながら、協働運営が実施できている。また、統合型地域スポーツクラブ（ウィル大口スポーツクラブ）とも連携しながら事業展開をしている。

体育協会の運営については、昨年に引き続き各団体の会計監査を実施し、健全な協会運営が実施できるよう支援した。

スポーツ少年団については、各団との連携を密にとり、事務局として円滑な事業運営に尽力した。今後も各団の自主自立による運営のため、助言などを行っていく。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課		No.	7
事業名	温水プール管理事業			
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する	
	基本施策	1	生涯学習の推進	
目的	<p>市民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるような施設の一つとして、一年を通して活用できる温水プールを整備することで市民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。</p>			
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者との協定締結 指定管理者と連携を密にとり施設の管理・運営について、確認する。 		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理の範囲外の工事等について、検討し実施。 	
現在における経過又は課題	<p>施設の管理運営が平成 22 年度から指定管理者に委ねられ、現在は平成 27 年度から 5 年間の指定管理協定が結ばれている。</p> <p>施設自体は、開館からすでに 30 年近く経過しているため老朽化は否めない状況であり、随時修繕等を実施していく必要がある。</p>			
平成 30 年度の目標又は改善策	<p>施設の管理運営が指定管理者に委ねられていることから、施設の適正な運営が行われているかの指導・助言を実施していく。</p> <p>施設については、指定管理者と協議のうえ、大規模な改修が必要な箇所について把握し、今後の改修に向けて準備を進めていく。</p>			

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	指定管理年度協定締結
5	配管改修工事
<p>年間を通して施設の管理運営が適切に行われているか、指定管理者の動向を慎重に見守っていく。 大規模な修繕が発生した場合は、指定管理者と協議しながら対応していく。</p>	

□3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 					
項目（単位）	H28 計画	H28 実績	H29 計画	H30 目標	H31 目標	H32 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H31 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
H32 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H28 年度決算額	H29 年度当初予算額	H30 年度計画額
事業費		千円	49,668	48,104	51,472
(内特定財源)		千円	134	160	140
人工	職員	0.3	0.3	0.3	0.3
	臨時職員	0.0	0.0	0.0	0.0
	計	0.3	0.3	0.3	0.3

■平成 30 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-5-1-1 行政財産目的外使用料	140	10-6-2 3 温水プール管理事業
合計	140	

■平成 30 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-6-2 03 15-29-1 温水プール配管改修工事費	2,409	皆増	温水プール建屋外周水道管の経年劣化による配管工事

■特記事項

温水プール建屋外周の水道管の一部が水漏れを起こしており、管全体の老朽化が想定されるため、配管の改修工事を行う。

■目標又は改善策に対する取組内容

工事

6～7月 温水プール配管改修工事 2,354,400円

その他

指定管理者であるウィル大口スポーツクラブと定期的に情報共有会議を実施

■評価

配管改修工事の施工により、配水管の漏水が改善された。今後も大規模な修繕・工事においては、指定管理者であるウィル大口スポーツクラブと連携を密にとり、施設保有者として対応していく。

ウィル大口スポーツクラブの指定管理者としての運営実績についても、長年のノウハウの蓄積により安定しており、多くの自主事業を積極的に実施している点は高く評価できるものである。今後も施設の修繕を適宜実施し、安全に利用できる環境整備に努めてもらう。

また、ウィル大口スポーツクラブと定期的な情報共有会議を行い、問題点の洗い出しなど、お互いの方向性の確認に努めた。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課		No.	8
事業名	グラウンド等管理事業			
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する	
	基本施策	1	生涯学習の推進	
目的	<p>町民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるよう、また、多種多様なスポーツ種目の要望に応えられるように施設を整備し、町民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。</p>			
事務内容	・ 指定管理委託した施設の町負担分支払		・ 工事施工	
現在における経過又は課題	<p>平成 27 年度からすべてのスポーツ施設を指定管理者制度に移行したため、指定管理者と調整しながら施設の維持にあたっている。(平成 27 年度追加施設：野球グラウンド、町テニスコート、屋内運動場)</p> <p>引き続き、全ての施設がより適正に管理・運営されるような施設管理の方法を検討していく。</p>			
平成 30 年度の目標又は改善策	<p>管理運営が指定管理者に委ねられている施設について、指定管理者が適切な管理に努めるよう指導・助言をしていく。また、経費抑制や適正な管理ができるよう協議を続ける。</p> <p>2020年に水銀灯が生産中止されることに伴い、現在水銀灯を使用している総合運動場テニスコート、グラウンドナイター設備などの照明について、順次LED化を進める。</p>			

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	指定管理者制度導入施設の年度協定締結
5	総合運動場管理棟2階空調機器更新工事
6	総合運動場ナイター設備改修工事設計
8	総合運動場ナイター設備改修工事入札
9	総合運動場ナイター設備改修工事施工
<p>年間を通して施設の管理運営が適切に行われているか、指定管理者の運営を見守っていく。 大規模な修繕が発生した場合は、指定管理者と協議しながら対応していく。</p>	

□3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 						
	項目（単位）	H28 計画	H28 実績	H29 計画	H30 目標	H31 目標	H32 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H31 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
H32 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H28 年度決算額	H29 年度当初予算額	H30 年度計画額
事業費		千円	44,400	43,980	74,067
(内特定財源)		千円	1,301	1,399	20,650
人工	職員	0.3	0.4	0.2	0.6
	臨時職員	0.0	0.0	0.1	0.1
	計	0.3	0.4	0.3	0.7

■平成 30 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-5-1-2 行政財産目的外使用料	727	10-6-2 4 グラウンド等管理事業
19-3-4-9-7-1 特別養護老人ホーム負担金	600	10-6-2 4 グラウンド等管理事業
19-3-4-9-21-1 スポーツ振興くじ助成金	19,323	10-6-2 4 グラウンド等管理事業
合計	20,650	

■平成 30 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-6-2 04 11-5 光熱水費	5,760	△500	使用実績に伴う減額 (電気料 △500)
10-6-2 04 13-5-7 総合運動場ナイター設備改修工事設計	615	皆増	総合運動場ナイター設備の照明をLEDに更新するための設計
10-6-2 04 15-27-1 総合運動場管理棟空調改修工事費	1,210	皆増	総合運動場管理棟2階の空調機器の更新
10-6-2 04 15-30-1 総合運動場ナイター設備改修工事費	28,371	皆増	総合運動場ナイター設備の照明をLEDに更新

■特記事項

総合運動場ナイター設備改修工事については、スポーツ振興くじ助成金を申請する予定。

■目標又は改善策に対する取組内容

設計委託

5～6月 総合運動場ナイター設備改修工事設計委託 561,600円

工事

7月 総合運動場管理棟空調改修工事 1,036,800円

7～2月 総合運動場ナイター設備改修工事 21,279,240円

11～12月 総合運動場高圧ケーブル取替修繕 3,542,400円

■評価

総合運動場ナイター設備改修について、当初の予定どおり実施設計と施工を実施したが、9月に高圧線ケーブルの不具合が発覚し、ケーブルの修繕とそれに伴うナイター設備改修工事の工期延長が生じた。ケーブルの不具合により、約3か月間電気の使えない状態が続いたが、指定管理者であるウィル大ロスポーツクラブの協力を得て、影響を最小限に抑えながら速やかな復旧に向けて務めた。ナイター設備改修によって、従来の水銀灯式からLED灯式に変わり、明るさや点灯時の運用について、利用者からも概ね好評価をいただいている。今後は電力消費量の削減や、取替頻度の抑制による費用効果が期待できる。

施設全般の管理については、指定管理者であるウィル大ロスポーツクラブにおいて、管理ノウハウの蓄積により安定した運営が行われている。今後も連携を密にし、情報共有を図っていく。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	9
事業名	野外活動施設管理事業		
総合計画の 体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本施策	1	生涯学習の推進
目的	<p>町民が自然にふれあいながら規律、協調、友愛の精神を養い、心身ともに健全に、また、より豊かな心を養うことを目的とし、安心して利用できる施設管理を目的とする。</p>		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 支払処理 ・ 消耗品等の補充
現在における 経過又は課題	<p>地元住民の有志グループに日常管理を委託してきたが、大きなトラブル等もなく現在も同じグループに日常管理を委託している。</p> <p>開場からすでに30年以上経過しており、施設全体の老朽化は否めない。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分も多々存在している。</p> <p>アスレチック施設については、木製であるので経年劣化が大きく、今後の施設の維持管理について検討する必要がある。</p>		
平成30年度の 目標又は 改善策	<p>施設の老朽化に対応するため、可能な限り早期の修繕を実施している。また、地元地域からの要望等にも早期の対応に心がけている。</p> <p>今後の施設のあり方については、平成29年度から検証を進めており、引き続き方向性を定めていく。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	<p>年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。</p> <p>* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。</p>

□3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 					
項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H31 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
H32 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H28 年度決算額	H29 年度当初予算額	H30 年度計画額
事業費		千円	5,174	5,189	4,769
(内特定財源)		千円	10	15	15
人工	職員	0.2	0.2	0.2	0.3
	臨時職員	0.0	0.0	0.0	0.0
	計	0.2	0.2	0.2	0.3

■平成 30 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-5-3-1 野外活動施設使用料	15	10-6-2 5 野外活動施設管理事業
合 計	15	

■平成 30 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

なし

■目標又は改善策に対する取組内容

修繕（主たるもの）

- 7月 ふれあいの森炊事場排水修繕 21,600円
- 2月 ふれあいの森街灯修繕 386,640円
- 3月 ふれあいの森遊具等撤去修繕 216,000円

その他

地元の有志団体であるふれあいの森クラブに、鍵開け等の日常管理を委託
年1回アスレチック遊具の安全点検

■評価

ふれあいの森周辺の街灯について、点灯しない箇所が複数あり、今後の経済性を勘案し、全灯を水銀灯式からLED灯式へ交換した。これにより、夜間の視認性、安全性の向上が図れた。

また、定期点検において、アスレチック遊具等の一部が撤去推奨の判定を受けており、撤去修繕により遊具1か所と営火場の入口門の撤去を行った。今後も定期点検の結果を鑑み、適宜修繕及び撤去を実施し、安全に利用できる環境整備に努めていく。

さらに今後は、施設の維持管理方法や利用形態に際し、遊具等の残存状況を勘案しながら、施設そのものの在り方を検討していく必要がある。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課（歴史民俗資料館）	No.	10
事業名	文化財保護事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本政策	1	生涯学習の推進
目的	郷土に残る貴重な文化財の保護に努め、積極的に活用することにより次世代へ継承する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定文化財の保存と活用 ・ 新規に指定可能な文化財の調査 ・ 町の歴史に係る調査・研究 ・ 埋蔵文化財の保護と開発に係る調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統芸能の継承と普及 ・ ・ ・ 		
現在における経過又は課題	<p>町内に残る指定文化財及び未指定でも近年急速に失われつつある、郷土の歴史を考える上で貴重な文化遺産について日々調査を行い、それらを保存・活用することにより、町民が認知し、保護に対する意識の醸成を図る。</p> <p>各地区の伝統芸能について、近年後継者不足に悩まされているので、伝統芸能を発表する場及び次世代へ継承する事業を推進する。</p>		
平成 30 年度の目標又は改善策	<p>指定文化財及び町内に残る貴重な文化遺産等について、専門家や地域住民の協力を得ながら調査を行い、その成果を学習機会の提供等、普及啓発活動を進め、町民に還元する。</p> <p>毎年 4 月及び 10 月に開催している伝統芸能発表会及び大口北小学校で実施している各地区の保存会と児童の交流事業を引き続き開催し、発表及び次世代へ継承する場を設ける。また、各地区の活動状況を把握しながら、保存会の継続に寄与する。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
10	文化遺産の調査及び普及啓発活動 文化遺産に関するイベント及び講演会の検討。12月頃までに実施。 調査は専門家や地域住民の協力を得ながら通年で実施。さらに地元の文化遺産に関する認知度を高めるため、普及啓発活動を随時開催。
4	伝統芸能の保存及び継承 金助桜まつりでの伝統芸能披露
6	伝統芸能保存会会議において、各地区の現状等を把握し、今後の活動について検討。
10	伝統芸能発表会の開催 大口北小学校との交流会
3	金助桜まつりでの伝統芸能披露

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H28 計画	H28 実績	H29 計画	H30 目標	H31 目標	H32 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H31 年度	・ ・
H32 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H28 年度決算額	H29 年度当初予算額	H30 年度計画額
事業費		千円	3,058	3,462	2,741
(内特定財源)		千円	30	30	30
人工	職員	人工	0.5	0.4	0.5
	臨時職員	人工	1	0.5	0.5
	計	人工	1.5	0.9	1

■平成 30 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
町史、遺跡報告書売払い	30	
合計	30	

■平成 30 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
保険料(文化財動産)	0	△100	行政課が契約する保険で対応するため
樹木剪定等委託料	0	△600	平成 29 年度で事業が完了したため

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

町内に遺る多種多様な文化遺産について、地域自治組織をはじめ、各種団体より情報提供を受けつつ、把握及び調査を進めた。また、さくらメイト、さくら大学、中小口コミュニティ、老人クラブ等から依頼を受け、町内の文化遺産に関する講演会及び現地解説を実施した。

春の金助桜まつりは急きょ年度内に2回開催となったが、秋の伝統芸能発表会とともに晴天の下、全て無事開催することができた。特に2回目の金助桜まつりは、地元である豊田獅子囃子保存会に他地区の保存会と同じ場所でお囃子を披露していただいた。また、町外のゲスト出演団体として、春の金助桜まつりは小牧市常普請木遣保存会、秋の伝統芸能発表会は江南市安良棒の手保存会にご披露いただいた。10月に開催した大口北小学校連携事業「ふるさと大口・お祭りたいけんひろば」は、児童と各地区の保存会が大変熱心に交流する姿が印象的であった。

■評価

文化遺産に係る講演会及び現地解説は、様々な団体より依頼を受け、身近な文化遺産を知っていただく機会を創出するとともに、参加者が子どもの頃の文化遺産の様子や未知の文化遺産に関する情報等、収集することができた。このことにより、参加した町民が、地域に遺る文化遺産を改めて知る機会をつくることができた。

伝統芸能については、計3回となった発表会を無事開催することができ、各地区の保存会にとって日頃の成果を披露する場を設けることができた。また、大口北小学校との連携事業は、昨年度課題として挙げられていた開催時期を、気候が穏やかな10月にしたため、参加した各保存会の方々が伸び伸びと児童と触れ合うことができた。2回目の金助桜まつりでは、豊田獅子囃子保存会の方々にも発表会に参加していただくことができたため、次年度は秋の伝統芸能発表会にも参加してもらえるように調整し、各地区の保存会の活性化へと繋げていきたい。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課（歴史民俗資料館）	No.	11
事業名	歴史民俗資料館運営事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本政策	1	生涯学習の推進
目的	先人の培ってきた過去の営みを現在に伝え、郷土「おおぐち」に関する事柄や美術分野等の展示を通じ、町民の知的欲求に応える。また、小中学校からの見学や資料貸出等により、学校教育に寄与する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年 4 回の企画展開催 ・ 常設展示室の管理 ・ 展示解説及びそれに係る調査研究 ・ 文化財収蔵庫の管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 収蔵品管理及び活用 ・ 学校授業等の受入れと出前授業 ・ 博物館実習生の受け入れ（一週間） ・ 年報、展示図録等の発行 		
現在における経過又は課題	<p>年 4 回開催している企画展のうち、春の企画展「端午の節句」及び冬の企画展「ひなまつり」は毎年恒例の企画展である。上記 2 本の企画展を中心に、町民が積極的に資料館を利用していただく機会を創出する。</p> <p>文化財収蔵庫内の資料及び施設自体の活用を推進する。収蔵品については、小中学校及び高齢者施設等に対し積極的に活用する機会を設ける。</p>		
平成 30 年度の目標又は改善策	<p>定例化した 2 本の企画展は、来館者から直接いただいた意見及びアンケート等を分析し、来館者のニーズに合わせ運営を改善するよう努める。他 2 本の企画展についても、夏は子ども向け、秋は郷土にまつわるテーマを中心に、町民の知的好奇心を刺激する内容にし、来館者を増やしていくことにより、資料館の認知度及び利用を促進させる。</p> <p>文化財収蔵庫及び収蔵品の活用は、年 1 回の施設開放及び月 1 回の「オレンジカフェ・大口」への資料貸与を引き続き実施し、教育及び福祉と連携しながら推進する。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	春の企画展開催（6月上旬まで）
6	中学生職場体験受入
7	夏の企画展開催（9月中旬まで）
8	博物館実習受入
10	秋の企画展開催（12月中旬まで）
11	ふれあいまつりでの文化財収蔵庫一日開放
1	冬の企画展開催（3月中旬まで）、小学校3年生の授業「むかしの道具」で資料館利用
<p>毎月、大口町社会福祉協議会が開催する「オレンジカフェ・大口」に収蔵品貸出。 小中学校、高齢者施設及び町内各種団体に対し文化財収蔵庫の団体見学受入。 また、収蔵品を利用する出前授業等の依頼があれば実施。</p>	

□3年間の目標

目標	・ ・						
	項目（単位）	H28 計画	H28 実績	H29 計画	H30 目標	H31 目標	H32 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H31 年度	・ ・
H32 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H28 年度決算額	H29 年度当初予算額	H30 年度計画額
事業費		千円	14,948	11,439	11,481
(内特定財源)		千円	40	40	40
人工	職員	人工	0.5	0.5	0.5
	臨時職員	人工	1	1	1
	計	人工	1.5	1.5	1.5

■平成 30 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
図録売払い、広告収入	40	
合計	40	

■平成 30 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

年4回開催する企画展のうち、春の企画展「端午の節句」及び冬の企画展「ひなまつり」は今年度も開催。夏の企画展は昨年度より推進している歴史文化教育事業の一環として、子どもを対象に郷土の文化遺産（主にむかしばなし）について親しんでもらう展示を行った。秋は地域の災害である「入鹿切れ」についての展示及びシンポジウム等を開催した。

文化財収蔵庫内の所蔵資料は「オレンジカフェ・大口」においてテーマごとに毎月資料を貸出し、参加者に対し回想法の手法を取り入れたレクリエーションを行った。また、高齢者施設の文化祭でも借用依頼があり、所蔵資料を活用していただいた。文化財収蔵庫自体は「ふれあいまつり」開催中に開放し、内部見学の機会を創出し、小学校3年生の授業「むかしのどうぐ」においては、資料館内での資料体験及び収蔵庫内の見学に利用していただいた。

■評価

春及び冬の企画展は、今年度も多くの来館者で賑わった。両企画展開催中は、普段から博物館施設を利用しない客層が来館するため、写真撮影コーナーの待ち時間中に常設展示室を見学する等、資料館の利用及び認知とともに、副次的ではあるが町の歴史についての普及啓発にも繋がっている。また、秋の企画展で取り扱ったテーマは、地域の災害について多くの方々に興味を持っていただき、防災意識の向上も併せて開催した意義があったと考える。

文化財収蔵庫及び収蔵品の活用について、継続して実施している「オレンジカフェ・大口」をはじめ、高齢者を対象にした借用依頼が多く、所蔵資料が教育だけではなく、福祉でも活用の場があることを認識してもらえたと思う。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課（歴史民俗資料館）	No.	12
事業名	歴史文化教育事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本政策	1	生涯学習の推進
目的	町内の歴史及び文化を、多様な主体と連携しながら次世代へ継承することにより、町民が郷土を愛し、町の魅力として誇りを持てるまちづくりを推進する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園との連携事業 ・ 小中学校における郷土学習 ・ 地域自治組織との連携事業 ・ 町内各種団体との連携事業 		
現在における経過又は課題	<p>各種団体への講演及び現地解説を実施する中で、地域（家庭）において地元の歴史及び文化を次世代へ語り継ぐことが断絶している現状が挙げられる。</p> <p>よって、町内の多様な主体と連携し、老若男女問わず、郷土の歴史、文化及び現在も遺る様々な文化遺産を次世代へ継承することにより、町民の郷土愛を育み、町の魅力として誇りを持つことができるようなまちづくりを推進しなければならない。</p>		
平成 30 年度の目標又は改善策	<p>前年度に実施している西保育園及び南保育園との連携事業、中地域自治組織及び南地域自治組織との取組み、そして町内の小学校 6 年生を対象とした「松江開府の祖」堀尾吉晴公に関する授業を今年度も継続して実施する。機会があれば町内の様々な主体と積極的に連携し、本事業を幅広く展開する。</p> <p>また、小中学校の郷土学習について、可能な支援を提案する等、積極的な連携に努める。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・南保育園連携事業「郷土を愛する心を育む活動」（年間3～5回） ・西保育園連携事業（年間2回） ・町内の小学校6年生郷土学習「松江開府の祖 堀尾吉晴公」（9月～10月予定） ・中地域自治組織文化部会「歴史と民俗研究会」 ・南地域自治組織「南地域の歴史や文化遺産を次世代につなぐ事業」 ・「おおぐち歴史ガイド」による生涯学習講座 ・その他、まちづくり団体等、町内の多様な主体とともに連携し事業を展開。

□3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 					
項目（単位）	H28 計画	H28 実績	H29 計画	H30 目標	H31 目標	H32 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H31 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
H32 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H28 年度決算額	H29 年度当初予算額	H30 年度計画額
事業費		千円	0	0	0
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0	1	1
	臨時職員	人工	0	0.5	0.5
	計	人工	0	1.5	1.5

■平成 30 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■平成 30 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

南保育園及び西保育園での「郷土を愛する心を育む活動」（南保計6回、西保計3回）、各小学校において「郷土の偉人 堀尾吉晴公」をはじめとした各種授業の連携、中地域自治組織のアドバイザー、南地域自治組織の「南地域まちづくりかわら版」への寄稿は昨年度から継続して実施。

今年度は大口中学校2年生を対象に堀尾吉晴に関する授業を実施した。また、8月には町内の教職員を対象とした大口町歴史文化講座を開催。秋の企画展「地域の災害を知る～入鹿切れ～」で展示したパネル等を中学校で展示し、小学校では休み時間を利用して「入鹿切れ」に関する講話を行った。北地域自治組織では福祉部会と連携し、地域内の文化遺産を巡るウォーキングを実施した。「おおぐち歴史ガイド」は、生涯学習講座で講師を行うとともに、計2回行われた金助桜まつりに合わせ、堀尾跡公園内で堀尾氏ゆかりの地のガイドを行った。

■評価

今年度も継続事業に加え、小中学校を中心に多くの団体と連携を図ることができた。特に大口中学校で実施した堀尾吉晴に関する授業は、小学校6年生、中学校2年生と子ども達の各段階において違う視点から堀尾吉晴について学ぶことにより、郷土の偉人をより深く知ることができる機会を創出できた。南保育園を卒園した場合は「郷土を愛する心を育む活動」でも堀尾吉晴を取り上げているため、その効果はさらに高くなると想定される。また、小学校の休み時間中を利用して郷土の歴史や文化に関する講話を実施することは、学校側にあまり負担をかけず連携できる方法の一つであると考えため、次年度以降も継続して実施できるよう、積極的に提案していきたい。

その他、「おおぐち歴史ガイド」を筆頭に、地域自治組織のイベント等、地域の住民を対象に歴史や文化を活かした事業がさらに広がるように働きかけていきたい。